

平成21年11月9日

2学年保護者様

千葉県立鎌ヶ谷高等学校
校長 原田 孝

修学旅行でのインフルエンザ発生について

深秋の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、1年生の時より準備を進めてきました沖縄方面修学旅行は10月31日（土）から11月3日（火）に実施しました。

しかし、旅行中に19名の生徒がインフルエンザを発症してしまいました。高校生活最大の行事で楽しく思い出深いものにならない修学旅行が無事行えるよう、2学期当初より、毎朝の健康観察を続け、中間試験後には複数名の患者発生を受け学年閉鎖も行い、また旅行中も朝夕の健康観察を担当が行ってきましたが、このような結果となり大変申し訳なく思っております。

なお、患者生徒については、公立高校の責任として患者を公共交通機関に乗せインフルエンザを蔓延させることになってはならないとの判断に立ち、当初は4名、その後2名の職員を現地に残し生徒の看病などの対応に当たらせました。

本日から、平常の学校生活に戻りますが、1年生でも2クラスを学級閉鎖にする等、依然として本校生徒にインフルエンザの流行が見られます。これからも健康観察を実施していきますが、もし発熱や体調不良が見られましたら必ず早めの医療機関受診をお願いします。

この件について、ご理解の程よろしく願いいたします。